

次期総合計画の策定に係る市民参加の状況

より多くの市民意見を計画に反映させるため、「地域に出向く」、「多様な市民の声を聞く」をキーワードに、これまでの市民参加の手法を発展させ、次のとおり実施しています。

1 市民ワークショップ「TALK&CAFE」

地域の魅力や課題、「こんなまちにしたい」という思いを話し合う市民ワークショップを開催しています。

【募集方法】

- ・チラシ（公共施設、スーパー、金融機関、中学校等にも配布）による公募
- ・開催地域の住民に対して案内状の送付（無作為抽出、郵送500通）
- ・町内会、市民活動団体への呼びかけ

【実施状況】

開催日	会場	参加人数
6月25日（土）	西部ふれあいセンター	41人
7月30日（土）	坂下公民館	22人
8月21日（日）	グリーンパレス春日井	26人

今後の予定

開催日	会場
9月25日（日）	高蔵寺ふれあいセンター
10月23日（日）	南部ふれあいセンター
11月19日（土）	東部市民センター
12月17日（土）	ささえ愛センター

【実施内容】 5～8ページ参照

【成果】

- ・中学生から高齢者まで幅広く意見を聴取できた。
- ・地域の人同士で一緒に考えることの楽しさ、必要性を感じていただいた。
- ・参加者のまちづくりに対する関心を高めることができた。
- ・参加者同士のつながりを考えるきっかけづくりとなった。
- ・市職員にとって、市民目線に立った業務の必要性を認識できた。

2 小中学校での出張授業等

市の現状や課題を学び、今後のまちづくりに必要なことなどを考える出張授業「春日井みらい教室」や、中学校美術部による作品制作などを行っています。

(1) 春日井みらい教室

本市の人口推移、人口推計などを説明し、今後のまちづくりの課題と自分たちにできることなどをグループで考え、発表しています。

【募集方法】小中学校校長会で依頼

【実施状況】

実施日	実施内容
6月14日（火） 5、6限目	押沢台小学校6年生 1クラス37人
7月12日（火） 3、4限目	丸田小学校5年生 2クラス68人
7月13日（水） 3、4限目	岩成台西小学校6年生 2クラス60人
7月15日（金） 1、2限目	牛山小学校6年生 2クラス70人

今後4校で実施予定

【成果】

- ・未来を担う子どもたちが自分の住むまちへの関心を高めるきっかけづくりとなった。
- ・子どもたちの考える「今後のまちづくりに必要なこと（重要施策）」を知ることができた。
- ・まちづくりのキーワードやわかりやすい表現を知ることができた。

(2) 作品制作

みんなで未来の春日井市について「こんなまちにしたい」を話し合った上で、未来の春日井市をイメージした作品や未来に伝えたいメッセージを表現した共同作品を制作しています。

【募集方法】小中学校校長会で依頼

【実施状況】石尾台中学校美術部、岩成台中学校美術部

(3) 男鹿市交流学习におけるグループワーク

男鹿市交流学习（8月3日～6日）の事前学習として、「自分の住む地域の良いところ」、「春日井市の良いところ」、「10年後、20年後、春日井市をこんなまちにしたい」を考え、グループで話し合いました。

【実施日】平成28年7月21日

【参加者】市内の全小学校を代表する6年生37名

【成果】

- ・男鹿市に出向くにあたって、男鹿市の児童を受け入れるにあたって、自分たちの住むまちの良いところを考えることができた。
- ・子どもたちの考える「こんなまちにしたい」を知ることができた。

3 市民活動団体等へのグループインタビュー

市内で活動する市民活動団体やグループ等に「こんなまちにしたい」という思いを聞き取りしています。

【募集方法】

- ・ 広報等による募集
- ・ 市民参加団体への呼びかけ

【実施状況】

開催日	団体名（分野）	参加人数
7月22日（金）	石尾台中学校美術部	17人
7月26日（火）	春日井高校生徒会	6人
8月22日（月）	藤山台中学校生徒会	5人

今後も各種団体に出向く予定です。

4 市民意識調査（アンケート）

第五次総合計画の検証と次期総合計画の策定に向けて、無作為抽出による市民12,000人と小中学生を対象とした市民意識調査を実施しました。※整理中

(1) 一般市民

調査名	まちづくりに関するアンケート調査
調査項目	・ 春日井市の「暮らしやすさ」について ・ 春日井市の「課題」に対する満足度・重要度 など
調査対象	春日井市在住の市民12,000人（18歳～79歳）
抽出方法	年齢、性別、中学校区などを踏まえ無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	平成28年7月19日～8月8日
回収結果	回収数 4,836人（回収率 40.3%）

(2) 小中学生

調査名	まちづくりに関するアンケート調査
調査項目	・ 春日井市の「暮らしやすさ」について ・ 春日井市の「課題」に対する満足度・重要度 など
調査対象	小学5年生（10校・351人） 中学2年生（5校・181人） 計532人
抽出方法	市内5地区に分け、過去の調査実績を踏まえ順番に選定
調査方法	校長会で配布・訪問回収
調査期間	平成28年7月1日～7月20日
回収結果	回収数 488（回収率 91.7%）

5 その他

中部大学の「地域共生実践」の講義において、春日井市が「住みたい・住み続けたいまち」になるために、必要な施策や施策の優先度をグループで考えるとともに、地域の課題を解決するために中部大学生としてできること（事業）を提案してもらった。

【実施内容】

実施日	講義内容
6月15日（水）	・住みたい・住み続けたいまちに必要な施策の討議・順位発表 ・春日井市の課題と解決に向けて自分たちができることの討議
6月29日（水）	春日井市の課題と解決に向けて自分たちができることの討議
7月6日（水）	自分たちができることの発表
7月13日（水）	講評（企画政策課職員）

【参加者】 中部大学2年生 約90人（9グループ）

【主な提案】

- ・高齢化や労働力の低下が懸念されるため、高齢者の孤立死防止と小学生の憩いの場を提供し、高齢者と学生が放課後に児童を預かる（母親が働きやすくなる、高齢者も元気になる、地域で子どもを育てることにつながる）。
- ・春日井市は知名度がないため、大学OBを活用して「春日井市の暮らしやすさ」を首都圏の人にPRする。
- ・住みやすいまち・きれいなまちにするため、クリーン作戦などの清掃活動をイベント化し、若い人の参加を促す。

【成果】

- ・市外に住む学生が春日井市への関心を高めるきっかけとなったほか、地域の課題を発見し、具体的な解決策を提案することにつながった。
- ・大学生の考える「今後のまちづくりに必要なこと（重要施策）」を知ることができた。

TALK & CAFE

春日井市の新しい
「総合計画」策定のための
かすがい市民
ワークショップ



第1回 TALK&CAFE

- 開催日
2016年6月25日〔土〕
- 時間
13:00~15:00
- 場所
西部ふれあいセンター(宮町)
- 参加人数
41人
- 主催：春日井市

春日井市では、今後10年、20年先を見据えたまちづくりの指針となる新たな「総合計画」の策定に向けて、多くの市民の皆さんの思いを反映させるため、市民ワークショップ「TALK&CAFE」を市内7カ所で開催します。

「TALK&CAFE」は、地域の皆さんがカフェのようなリラックスした楽しい雰囲気の中で、地域の魅力や課題、「こんなまちにしたい」という思いを話し合うワークショップです。



TALK&CAFEのながれ

- 1 開会
- 2 ワールドカフェ
- 3 まとめ
- 4 グループごとに発表
- 5 講評
- 6 集合写真
- 7 閉会

1 はじめに

「TALK&CAFE」店主のご挨拶 企画政策課 勝課長

今後のまちづくりの指針となる総合計画の改定作業に取り組んでいます。これまでは、市職員が出向いて市民の皆様の声を伺うという機会は十分ではありませんでした。

今回は「TALK&CAFE」で皆様のご意見を直接伺い、新たな総合計画に反映できればと考えております。

また、ファシリテーターとしてさまざまな部署の若手職員も参加しています。10年後、20年後も働いている職員が、市民の皆様の思いや感じていることを直接伺うことで、市にとって大きなプラスとなると期待しています

新しい春日井の未来図を描くため、本日は皆様の意見をたくさんいただきたいと思っております。



2 ワークショップ

① ワールドカフェについて

事務局、TALK&CAFE アドバイザーの椋山女学園大学の谷口功准教授からワールドカフェのルール・注意点のご説明。

② ワールドカフェ

15分ごとに席替えをしながら、以下の3つのテーマについてワールドカフェ形式で話し合っていました。

- ・テーマA「地域の良いところ」
- ・テーマB「地域の困りごと」
- ・テーマC「10年後、20年後のあったらいいな」

③ グループごとに意見のまとめ

模造紙に記入された参加者個々の意見をグループでまとめいただき、テーマごとに「自分たちにできること」を考えていただきました。

④ グループ発表

グループの代表者がとりまとめた発表。以下の意見が全体に共有されました。

テーマA 西部地区の良いところ

- ・ 住みやすい
- ・ 自然が身近で、便利な住環境
- ・ 地域コミュニティが機能している

テーマB 西部地区の困りごと

- ・ 町内会の運営
- ・ 世代の違う人との交流が少ない
- ・ ゴミ出しのマナーが悪い

テーマC 10年後、20年後のあったらいいな

- ・ 保育園と隣接した老人ホーム
- ・ 多世代が集まるコミュニティ施設
- ・ 町内会運営の施設

ワールドカフェとは？

リラックスした雰囲気の中で少人数に分けたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーの組み合わせを変えて対話を続けながら、参加する全員の思いを集めることのできる対話手法の1つです。



自分たちにできること

- ・ 地域のつながりを積極的に
- ・ きずなを深めていく
- ・ 「地域の良いところ」をきちんと伝える
- ・ 地域サロンの運営

自分たちにできること

- ・ 敷居の低い関係、地域の良さを伝える
- ・ 空き家等を利用した交流の場の創出
- ・ ゴミ収集の後の掃除、収集日の声掛け

自分たちにできること

- ・ 次世代にできることを受け継ぐ
- ・ 多世代のコミュニケーションを心掛ける
- ・ 空き家を利用し、町内会で施設運営

⑤ アドバイザー谷口功准教授による講評

各グループの発表を受けて、「『ないものねだり』から『あるものさがし』に切り変えていくことが重要。地域にないものをねだるのではなく、地域に既にある個性を伸ばし、地域の力を伸ばすことを考えて行動することが大切である。」との講評をいただきました。



3 テーマごとの意見

今回の「TALK&CAFE」のグループワークの中で、参加者の皆さんが模造紙に記入されたものをまとめました。

テーマA 地域の良いところ	テーマB 地域の困りごと	テーマC 10年後、20年後のあったらいいな
<p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ない街 	<p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故が多い ・犯罪（空き巣・自動車盗難など）が多い 	<p>【安全・安心】</p> <p>災害・事故・犯罪のない地域 福祉、防災、防犯などの情報が正確につたわる社会</p>
<p>【健康】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が充実している ・自転車で行ける医療機関の多い 	<p>【健康】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢化問題 ・低価格の介護施設の不足 	<p>【健康】</p> <p>高齢者向けの無料バス 高齢者や障がい者の施設の充実 保育園と老人ホームの併設 24時間体制の利用しやすい医療機関</p>
<p>【子育て・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心できる環境 ・安心して子育てできる環境 ・公園が多く、子どもが遊べる場所が多い ・産婦人科が選べる 	<p>【子育て・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に子どもが少ない ・ひとり親家族、ワーキングマザーへの支援不足 ・保育園で土曜14時以降に預かってもらえない ・日曜・祝日に子供を預けられるところがない ・「放課後格差」がある、西部地区の学童に入れない ・「子どもの家」が定員いっぱいに入れない ・夏休みの「子どもの家」は保育園と同じ時間を希望 ・春日井小学校が古い、西部中学校が狭い 	<p>【子育て・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生率の向上 ・私立中学校 ・職員がいるコミュニティセンター ・地域ネットワーク制度（子育て相談・支援制度）
<p>【住環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物園、落合公園、朝宮公園と緑が多い ・スーパー・飲食店の数が多い ・都会過ぎず、田舎過ぎずちょうど良い ・名古屋まで30分、ベッドタウンとして最適 ・通勤・通学に便利 ・名鉄の2駅が牛山町にある ・自動車での交通の便が良い（ICが近い） 	<p>【住環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車が生活に不可欠 ・渋滞、分かりにくい変則信号 ・駐車場が少ない、町内の道路が狭い ・公共交通機関が乏しい ・市内公共交通のバスは本数が少なく、終バスも早い ・公園の整備が不十分 ・騒音（小牧基地、飛行機、公園など） ・ゴミ出しマナーが悪い（特に町内会未加入者） ・映画館、野球場、サッカー場がない。 	<p>【住環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通機関 ・牛山公園まで来ている県道の完成 ・名鉄小牧線の地下化（高架） ・バリアフリー化
<p>【つながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会、子ども会などの地域コミュニティが残っている ・運動会、盆踊り、ウォークラリー等の地域行事が活発 ・神社やお寺の地域活動がある 	<p>【つながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会・子ども会の加入率が低い。 ・町内の役員を一部の人がやっている ・地域の悩みを共有する場がない ・新興地域なので、住民同士の交流が少ない 	<p>【つながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会で運営する施設 ・年代を問わず気軽に集まれるコミュニティ施設 ・情報ネットワーク（SNS）でつながる社会
<p>【にぎわい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大弘法という18mの弘法大使の像がある ・広い公園でイベントができる 	<p>【にぎわい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保守的で、アクティブな活動が少ない ・お祭りが盛り上がらない 	<p>【にぎわい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども連れOKなコンサートホール（ライブハウス） ・アミューズメントパーク ・町内に喫茶店・居酒屋 ・大きな複合遊具やバーベキューができる公園 ・MOZO級の商業施設
<p>【都市経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援宣言 ・市役所の方が丁寧で親切 	<p>【都市経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市政」、「社会」を知る場が少ない ・困っていることへの対応組織が明確ではない 	<p>【都市経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭への支援してくれる市役所の担当部署 ・「書のまち」のイメージ定着



4 さいごに

参加された方はリラックスした様子で、春日井の魅力や課題について、時に真剣に、時に笑顔で話し合っていました。最後はみんなで記念撮影。参加者同士の新たな「つながり」も生まれるワークショップになりました。



ふりかえりアンケート

- ・時間がもっとほしかった。
- ・素敵な先輩方に出会えた。
- ・大変意義のある企画。実効性あるまとめをしていただきたい。
- ・家にいてどうしてよいかわからない方をこういう場に引き込むのが課題だと思う。
- ・異なった考えを持った方と意見交換ができて大変良かった。
- ・元気なおじいさんたちの話に新たな気付きがありました。世代交流は大事です。
- ・ないものねだりではなく、あるものや良いところをさらに伸ばすというお話に感銘した。



かすがい市民ワークショップ「TALK&CAFE」は、今後も市内で開催され、まだまだ参加者を受け付けています。皆さんも、これからの春日井について気軽に話し合いませんか？



かすがい市民 TALK&CAFE 開始日程・会場

NO	日時	会場
1	6月25日(土) 13:00~15:00	西武ふれあいセンター(宮町)
2	7月30日(土) 13:00~15:00	坂下公民館(坂下町)
3	8月21日(日) 10:00~12:00	グリーンパレス春日井(勤労福祉会館)(東野町落合公園内)
4	9月25日(日) 10:00~12:00	高蔵寺ふれあいセンター(高蔵寺町)
5	10月23日(日) 10:00~12:00	南部ふれあいセンター(下条町)
6	11月19日(土) 13:00~15:00	東部市民センター(中央台)
7	12月17日(土) 13:00~15:00	ささえ愛センター(市民活動支援センター)(春見町)

※お住まいの地域以外の会場でも参加できます。